



檜邑きらきらだより



「Challenge (チャレンジ) !」
「Colorful is wonderful (カラフル イズ ワンダフル) !」

檜邑小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立檜邑小学校
第41号
令和7年2月14日
校長 山本 信子 発行

暦の上では 春を 迎えています

今年は、2月3日(月)に立春を迎え、暦の上では春。しかし、先週から降り積もっている雪でまだまだ雪や氷で遊んでいます。雪合戦やそりすべり、凍った場所を見つけては、アイススケートと、子どもたちの遊びは広がっています。

2月もはや半ば。約1ヶ月半で今年度も終了です。元気に1年のまとめをしていきたいです。



祝 真庭市立檜邑小学校 創立150周年



ついに迎えました。創立150周年。150周年という記念すべき節目の年を皆様とともにお祝いできることを心から嬉しく思います。1875年(明治8年)の2月に揚善小学校として開校して以来、多くの卒業生が巣立ち、社会に出て活躍されています。檜邑小学校のバトンを受け継ぎ努力してこられた先輩方、いつも温かく見守り応援して下さった地域の皆様、保護者の皆様に深く敬意を表します。

人口減少により児童数は激減し、現在、美作地域の中で一番少ない小学校です。しかしながら、一人一人が仲間と共に輝いている9名の子どもたちは檜邑小学校の自慢であり、誇りです。大人も子どもも行きたい学校をめざし、力を合わせて前に進んでいます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

『記録に残ることより記憶に残ることを!』を合言葉に、楽しい活動を企画・実行してきた令和6年度。最後は3月16日(日)に開催する『檜邑きらきらフェスティバル』で締めくくる予定です。皆様、お誘い合わせの上檜邑小学校にお越しください。一緒に楽しみましょう。お待ちしております。



楽しかった! 児童集会!

～ 令和7年2月13日(木)2校時 ～

4・5年生が委員会で企画を考えた児童集会が開かれました。なかよし会議で出た意見を吟味し、線おに、ドッチビー、室内サッカーの3種目を子どもも大人も一緒になって楽しみました。

子どもたちは元気ですが、大人は息があがる場面も。今年度の檜邑ファミリーで過ごす日々は減っていついていますが、楽しかった思い出は増えていついています。残りの日々、さらに増えることを願っています。企画・運営をしてくれた4・5年生のみなさん、ありがとう。





令和6年度 しじり体験学習 ～ 令和7年2月13日(木)5・6校時 ～

今年度も恒例の「しじり体験」をさせていただきました。天候の関係で、今回は檜西和紙工場の隣にある「みつまた加工場」でさせていただきました。

始めに、山崎さんから「しじり」のお話や作業のしかたについて教えていただき、早速体験をしました。山崎さんが事前に蒸して下さっていた三椏の皮を剥ぐ作業では、友だちと力を合わせてむいたり、かけ声をかけて息を合わせたりして、するりするりとあつという間に剥いていました。するりと皮が剥がれる瞬間は、何とも言えない心地よさです。体験するからこそ味わえる感覚です。続いて皮の表面の茶色い薄皮を専用の道具を使って剥がしました。毎年経験している子どもたちは慣れた手つきで、次々としじり、初めての1年生も辛抱強く続け、とても上手になりました。教えてくださった山崎さんやサポートに来てくださった中尾さんが感心されるほど、子どもたちは黙々と集中して作業に取り組みました。その姿は、まさにしじり職人のよう。「筋がええなあ。後継ぎとしてお願いしたい。」とつぶやかれるほどです。

珍しいしじり体験学習には、毎年、取材に来てくださっています。今回の様子が、本日2月14日の朝にNHKで放映され、ご覧になった地域の方から「見たよ。知ってる子が出ていて嬉しくなった。」と早速連絡をいただきました。関心を寄せてくださっていることがとても嬉しいです。地域の伝統文化にふれ、檜邑地域の良さを実感できる「しじり体験」。今後も続けていきたいです。ご指導ありがとうございました。今月17日と27日には、紙漉き体験を行います。

「世界一大きな絵EXPO2025」プロジェクトが始動しています



「世界一大きな絵EXPO2025」の取組に応募したところ、抽選で檜邑小学校が岡山県の代表に決まりました。この取組は、世界の子どもたちが、国や宗教・人種を越えて一枚の「世界一大きな絵」を完成させることにより、共通の喜びを分かち合い、情操を育み、世界平和に対する意識を育てていくことが目的です。作品は、2025年に開催されるEXPO2025大阪・関西万博のフェスティバルステーションにおいて展示される予定です。絵のテーマは「いのち」。以上のことから、一人一人が仲間と共に輝いている檜邑小学校の子どもたちならできるし、ぴったりだと思い、応募しました。講師に、真庭市郷育魅力化コーディネーターの平田勉先生をお迎えし、みんなで「いのち」のイメージを出し合う等してプロジェクトがスタートしています。現在は、最高学年の5年生ひろさん、美咲さんが出された意見をもとに下絵を紙に描いています。布を縫い合わせるという作業も必要で(1m×5mの布5枚を縫い合わせた5m四方の布に絵を描きます)、ミシンボランティアの山崎ひとみさんと真庭市教育委員会の講元由紀先生にお力添えをいただきました。取材も入っているので、既にMITでご覧になってくださった方もおられると思います。3月31日までに完成しなければなりません。せっかくだいたったチャンスです。引き続きお力添えをいただきながら、頑張って完成させます。応援お願いします。

